

よこ て きた
国道13号 横手北道路
計画段階評価
第3回 説明資料

1. 計画段階評価の検討の流れ
2. 第2回地域の意見聴取結果の確認
3. 対応方針（原案）の検討
4. 自治体への意見照会結果
5. 対応方針（案）のまとめ

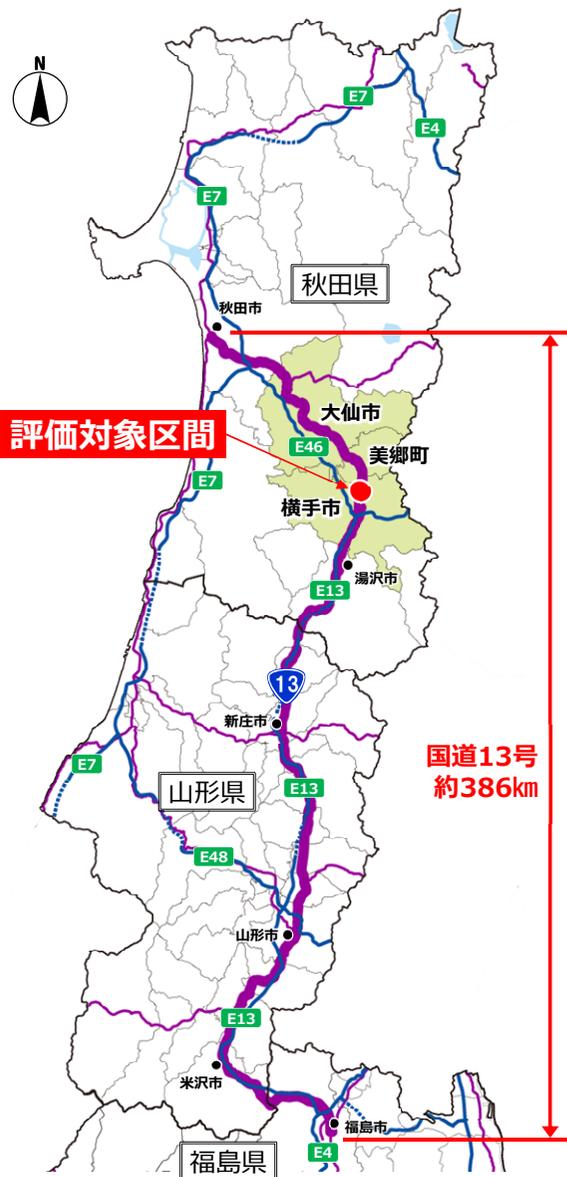
令和4年11月4日
国土交通省 東北地方整備局

1. 計画段階評価の検討の流れ

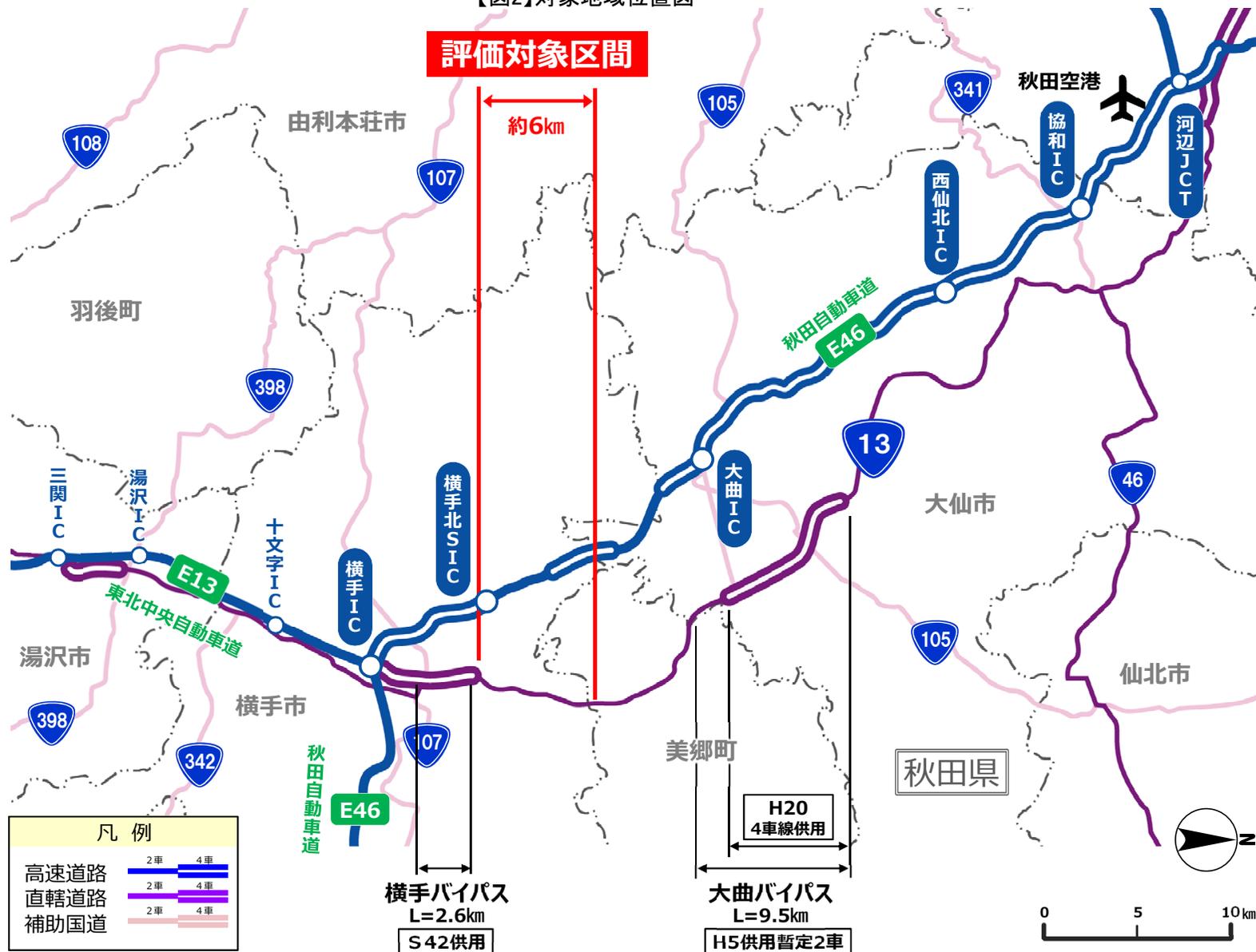
1-1. 評価対象区間

- ◆ 国道13号は、福島県福島市を起点に山形県内主要都市、秋田県横手市等を経由し秋田市に至る延長約386kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間は、横手バイパスの終点部から美郷町境付近までの延長約6kmの2車線区間。

【図1】広域図



【図2】対象地域位置図



1-2. 前回(第2回)審議内容

■第36回社会資本整備審議会 道路分科会 東北地方小委員会の概要

実施日:令和3年11月30日(火)開催

- 議事:①計画段階評価の検討の流れ
 :②第1回地域の意見聴取結果の確認
 :③政策目標の設定
 :④対応方針(ルート帯案)の検討
 :⑤第2回地域の意見聴取の方法

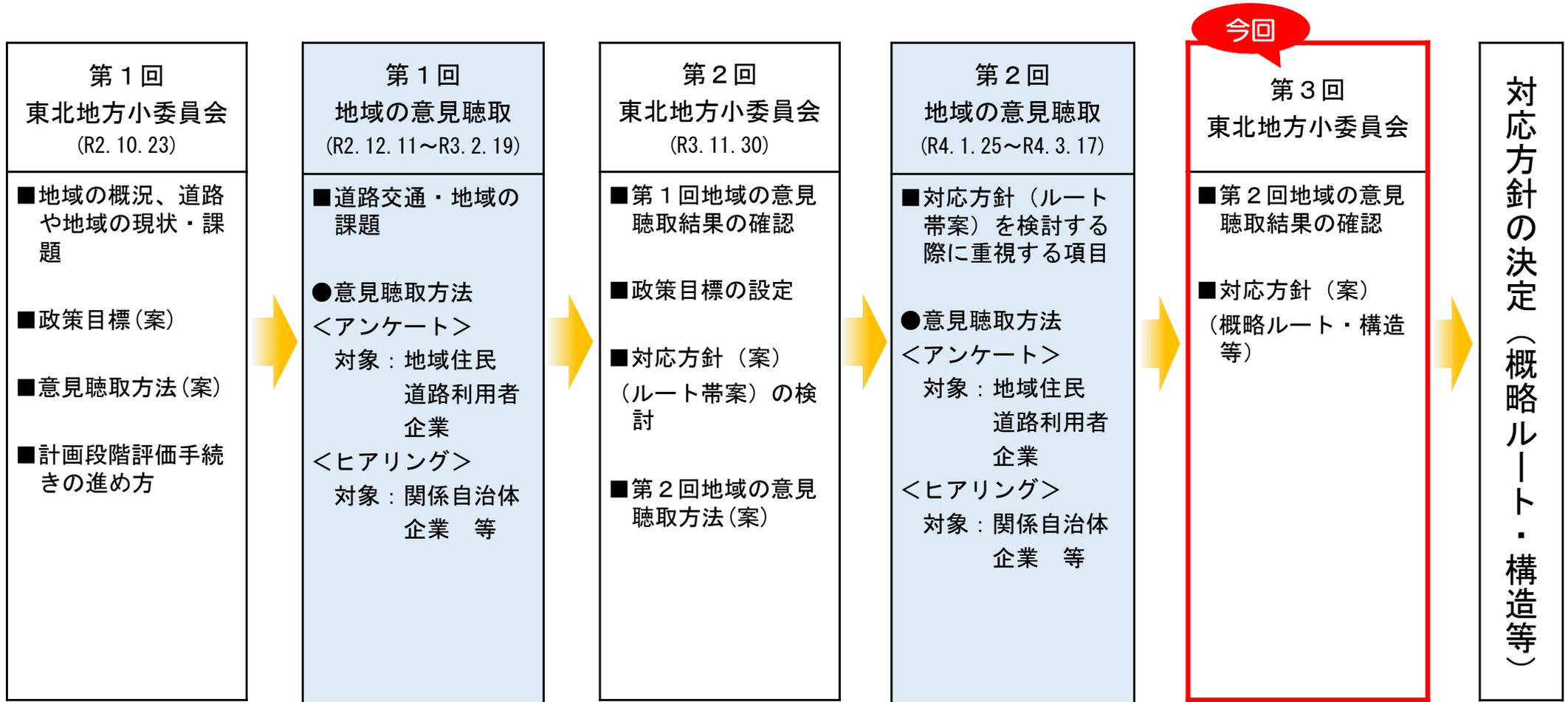
【表1】前回審議における主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況	対応頁
・冬期の路肩堆雪頻度や歩行環境にも配慮すること。	・調査票へ積雪期間を記載。	P8
	・歩行環境に関する歩行者アンケートを実施。	P19
・アンケートでは性別の聞き方に配慮すること。	・性別記入欄を任意記入方式とし実施。	P8
・若年層のアンケート回答数を増やすよう工夫すること。	・関係自治体及び事務所のSNSを通じ情報発信を行い、Webでの回答を広報。	P9
・対応方針を検討する上で、冬期課題を踏まえた計画となるよう配慮すること。	・冬期課題に対応するため、積雪地域で必要となる道路幅員を確保。	P26

1-3. 今後の計画段階評価の進め方(案)

◆ 地域住民・事業者・道路利用者の意見を聞きながら、対応方針(案)(概略ルート、構造等)について検討。

計画段階評価



地方小委員会

2. 第2回地域の意見聴取の結果

2-1. 第2回地域の意見聴取の実施内容

◆ 第2回地域の意見聴取は、地域住民・事業者・道路利用者へのアンケート調査、および関係団体へのヒアリング調査を実施。

1. 意見聴取期間

令和4年1月25日～令和4年3月17日

2. 意見聴取の対象

【表1】アンケート調査による意見聴取の対象

項目		調査手法・規模
地域住民	横手市横手地域(旧横手市) 美郷町、大仙市大曲地域 (旧大曲市)	郵送配布 ・意見聴取範囲の全戸(36,935世帯)
事業者	沿線事業所	郵送配布 ・横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)の製造業者(127事業所) ・沿線の運輸業者(48事業所)
道路利用者	沿線の道路利用者	・Web ・留置き(16か所)

※留置きアンケートについては、以下の施設にアンケート調査票・回収箱を常設した。

国交省:湯沢河川国道事務所

秋田県:平鹿地域振興局、仙北地域振興局

横手市:市役所本庁舎、秋田ふるさと村、横手市ふれあいセンターかまくら館、

横手市交流センターY2(わいわい)ぷらざ

美郷町:町役場、仙南出張所、六郷出張所、美郷町総合体育館リリオス

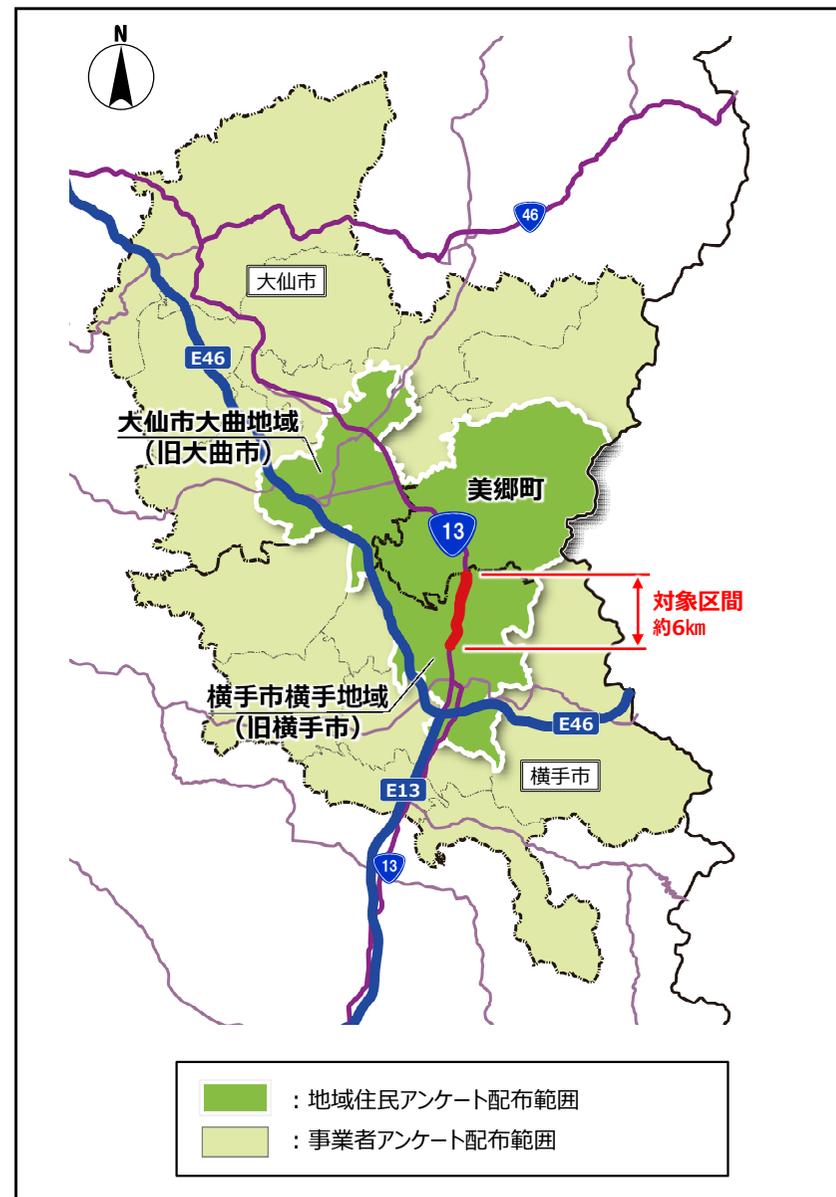
大仙市:市役所 大曲庁舎、南庁舎、大仙市大曲体育館

道の駅:十文字、美郷

【表2】ヒアリング調査による意見聴取の対象

調査対象団体(25社・団体)			
関係団体	○横手市、美郷町、大仙市	○トラック協会【1団体】	○医療施設【1団体】
	○秋田県	○農業協同組合【2団体】	
	○観光協会【3団体】	○消防機関【2団体】	
	○バス協会【1団体】	○学校【2団体】	
	○警察機関【1団体】	○自動車関連企業【3社】	
	○経済団体【3団体】	○福祉施設【2団体】	

<アンケート配布範囲>



2-1. 第2回地域の意見聴取の実施内容

- ◆ 地域住民へのアンケートは、横手市横手地域(旧横手市)、美郷町、大仙市大曲地域(旧大曲市)に全戸配布、Webアンケート・留置きアンケートを実施。全体の回収数は10,841票、郵送配布における世帯単位での回収率は15%となった。
- ◆ 事業者へのアンケートは、対象地域の製造業者、沿線の物流業者を対象に行い、全体の回収数は116票、郵送配布対象事業者での回収率は37%となった。

【表1】アンケート調査票の回収状況

分類	配布方法	配布数	回収数	回収率
住民・ 道路利用者	郵送配布 (回答ハガキを2枚添付)	36,935世帯 (73,870票)※	5,381世帯 (8,422票)※	15% (11%)
	留置き (回答ハガキを2枚添付)	—	251票 (383票)※	—
	Web	—	2,036票	—
	合計	—	7,668票 (10,841票)※	—
事業者	郵送配布	175票	65票 (うち22票はWeb回答)	37%
	Web	—	51票	—
	合計	—	116票	—

※ () 内は1枚目・2枚目を合計した数

- ◆ 積雪地域の課題をイメージしやすいよう、調査票の課題説明に積雪期間を記載。
- ◆ 質問票でWebの回答方法を分かりやすく説明し、回答数が増えるよう工夫。
- ◆ 質問票(はがき)の性別記入欄は任意記入とし、性別の聞き方に配慮。

<調査票(中面)>

※たくさんのご回答ありがとうございました!!

第1回アンケート結果の概要

対象区間の利用目的、課題の認識、政策目標、配慮すべき事項、アンケート結果を踏まえた課題の再整理、1 交通環境、2 事故、3 物流・産業、4 医療、地域や道路の課題解消のため、2つの案を立案しました。

案1 現道改良(一部バイパス)案
 現道改良(一部バイパス)4車線
 積雪深さ30cm以上

案2 バイパス案
 全線バイパス4車線、積雪の懸念を解消する案
 バイパス4車線
 積雪深さ60cm以上

1 交通環境

- 横手地区の積雪深30cm以上の日数は、約80日となっています。(気象庁観測所・横手 H28-R3)
- 堆雪により車両のすれ違いや歩道の歩行が困難との意見がありました。



積雪期間を記載

<質問票(表面)>

国道13号 横手北道路 道路計画に関する 第2回アンケート調査

全4問 (約4分程度)

東南・中央地域を結ぶ国道13号 横手北道路(横手市石町~美郷町榊柳間)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

▼ 回答方法は Web または はがき からお選びいただけます。

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください。**手軽なWeb回答がおすすめです!**

- スマートフォンから
スマートフォンで右のQRコードからアクセスしてください。
- パソコンから
「湯沢河川国道事務所」で検索し、「国道13号 横手北道路」のページをクリックしてください。

はがきで回答する 本誌の回答はがきにご回答をご記入いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

- 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。
- 回収ボックスに投函
湯沢河川国道事務所、横手市・美郷町・大仙市の市役所・役場、道の駅(十文字・美郷)等の回収ボックスに投函してください。

※ 投票箱の詳細は「湯沢河川国道事務所」で検索し、左のバーコードから確認いただけます。
 ※ より多くのご意見をお聞きするため、回答はがきは **各世帯に2枚** 送付しています。
 ※ ご家族やお知り合いの方で協力いただける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市役所・役場などにも設置しておりますので、こちらをご利用ください。

回答はがき ※回答はがきは2枚あります。お一人様1枚ずつの回答をお願いします。 締め切り 令和4年3月17日(木)

郵便はがき 1枚目
 料金受取人私郵便 湯沢局承認 44 0128790
 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
 国土交通省 東北地方整備局
 湯沢河川国道事務所 調査第二課
 アンケート事務局 行

郵便はがき 2枚目
 料金受取人私郵便 湯沢局承認 44 0128790
 秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
 国土交通省 東北地方整備局
 湯沢河川国道事務所 調査第二課
 アンケート事務局 行

Webの回答方法を分かりやすく説明

性別は任意記入とし、聞き方に配慮

あなたについてお聞かせください。

年齢	<input type="checkbox"/> 10代 <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上	性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
職業	会社員・公務員・自営業 学生・主婦・主夫・無職 その他()	郵便番号	[] [] [] [] [] []
住所	[] 都・道・府・県 [] 市・町・村 地区名 []	第1回アンケートへの回答	<input type="checkbox"/> 回答した <input type="checkbox"/> 回答していない

※個人情報は同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められる場合があります) ⇒ 表面に続きます

2-2. 第2回地域の意見聴取の実施内容(広報)

- ◆ アンケート調査は、住民・事業者への調査票の配布、留置き、Webにより実施。
- ◆ 広く調査を周知するため、新聞広告・広報チラシ・HP(国交省、秋田県、横手市、美郷町、大仙市)やラジオ、ローカルアプリ(横手市)により広報を実施。
- ◆ 若年層への周知として、FacebookやTwitter、LINEを活用した広報を実施。

【表1】第2回意見聴取内容

[回答者属性]年齢、職業、性別、住所、第1回アンケートへの回答等
 [問1]国道13号(石町～榊柳間)の道路利用について(目的、頻度、手段)(選択)
 [問2]対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目について(選択)
 [問3]特に重視すべきと思われる理由について(自由)
 [問4]その他重視すべきと思われる項目について(自由)

【図1】新聞広告(秋田魁新報)

アンケートにご協力をお願いします。

国道13号 横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)の道路計画に関する第2回アンケート調査を実施しております。

地域の皆様のご意見をお聞かせください。

国道13号 横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)は、県南・中央地域を結ぶ主要幹線道路です。本調査は、地域や道路の課題への対応方針(標ねのルート帯案)を検討するため、重視すべき事項をお聞きするアンケート調査です。ご協力をお願いします。

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課
TEL 0183-73-5559 平日 9:00～17:00

Webで回答する 手軽にどなたでも回答できます

1 スマートフォンから
QRコードからアクセスしてください。

2 パソコンから
「湯沢河川国道事務所」で検索し、「国道13号 横手北道路」のページをクリックしてください。

はがきで回答する

1 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

2 回収ボックスに投函
湯沢河川国道事務所、横手市・美郷町・大仙市の市役所、役場、道の駅(大文字・美郷)等の回収ボックスに投函してください。

【図5】Facebookでの広報

美郷のミズモ (秋田県美郷町)
1月25日

【第2回】国道13号(横手市石町～美郷町榊柳間)道路計画に関するアンケートについて
みなさんこんにちは、美郷のミズモだよ。ミズモから国道13号道路計画に関するアンケートのお観覧についてお知らせだよ。

国土交通省湯沢河川国道事務所では、インターネットによる国道13号(横手市石町～美郷町榊柳間)の道路計画に関するアンケートを行っています。県南・中央地域を結ぶ国道13号の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートをWEB回答する場合は、下記のURLをクリックしてください。

http://www.thr.mlit.go.jp/_/02_miti/yokoteita/index.html

みなさんの貴重なご意見よろしくお願ひします！

【図6】Twitterでの広報

横手市役所 @Yokote_city · 1月25日
【国道13号横手北道路のアンケートを実施中】

湯沢河川国道事務所では、国道13号横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)に関するアンケートを行っています。皆さまのご意見をお聞かせください！

thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti...

資料:横手市Twitter

【図7】LINEでの広報

【国道13号横手北道路のアンケートを実施中】

湯沢河川国道事務所では、国道13号横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)に関するアンケートを行っています。

県南・中央地域を結ぶ国道13号の道路計画にあたり、皆さまのご意見をお聞かせください！

詳しい内容やアンケートの回答はこちら
http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/02_miti/yokoteita/index.html?fbclid=IwAR1dik9o6Rn-0n2SLZuWAMldMRWH2QgibdkDamQ17sC7D7Dsaratx1uiuM

問い合わせ先
 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所調査第二課
 電話 0183-73-5559

湯沢河川国道事務所 みち…
 国道13号や秋田自動車道などの道路情報・雄物川、皆瀬…

資料:横手市LINE

【図2】自治体広報誌でのチラシ

みなさまのご意見をお聞かせください！

国道13号 横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)道路計画に関するアンケート

県南・中央地域を結ぶ国道13号 横手北道路(横手市石町～美郷町榊柳間)の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

回答期間 令和4年3月17日(木)まで

回答方法

1 Webで回答する
スマートフォンからQRコードからアクセスしてください。

2 スマートフォンのみから
「湯沢河川国道事務所」で検索し、「国道13号 横手北道路」のページをクリックしてください。

はがきで回答する

1 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

2 回収ボックスに投函
湯沢河川国道事務所、横手市・美郷町・大仙市の市役所、役場、道の駅(大文字・美郷)等の回収ボックスに投函してください。

お問い合わせ
 国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所 調査第二課
 ☎0183-73-5559 ☎0183-72-2488
 (平日 9:00～17:00) <http://www.thr.mlit.go.jp/yuzawa/>

【図3】自治体HPでの広報

大仙市 大曲の花火

ホーム > みちびき情報 > 属性 > 新着
 ホーム > みちびき情報 > 分野 > 環境・まちづくり > 道路
 ホーム > 広報 > 建設部 > 道路/川鉄

暮らしのトップへ

みなさまのご意見をお聞かせください！国道13号道路計画に関するアンケート

公開日 2022年01月25日
更新日 2022年01月25日

国土交通省湯沢河川国道事務所では、インターネットによる国道13号(横手市石町～美郷町榊柳間)の道路計画に関するアンケートを行っています。県南・中央地域を結ぶ国道13号の道路計画にあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。重視すべき事項をお聞きするアンケート調査です。

調査期間: 令和4年3月17日(木)～令和4年3月17日(木)

下1のボタンをクリックし湯沢河川国道事務所アンケートページへ移動ください。

国道13号 横手北道路 にご関心をお持ちの方へ
道路計画に関するアンケートを実施中!

※大仙地域の方には、各世帯に2通ずつアンケート回答用はがきが配布されます。

アンケートに関するお問い合わせ
 国土交通省東北地方整備局
 湯沢河川国道事務所 調査第二課
 電話番号0183-73-5559(平日9時00分～17時00分)

資料:大仙市HP

【図4】横手市ローカルアプリ(MINEBA)での広報

横手市 MINEBA

行事 日へる 暮らし 学ぶ

暮らしのトップへ

みなさまのご意見をお聞かせください！国道13号道路計画に関するアンケート

公開日 2022年01月25日
更新日 2022年01月25日

国土交通省湯沢河川国道事務所では、インターネットによる国道13号(横手市石町～美郷町榊柳間)の道路計画に関するアンケートを行っています。県南・中央地域を結ぶ国道13号の道路計画にあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。重視すべき事項をお聞きするアンケート調査です。

調査期間: 令和4年3月17日(木)～令和4年3月17日(木)

下1のボタンをクリックし湯沢河川国道事務所アンケートページへ移動ください。

国道13号 横手北道路 にご関心をお持ちの方へ
道路計画に関するアンケートを実施中!

※大仙地域の方には、各世帯に2通ずつアンケート回答用はがきが配布されます。

アンケートに関するお問い合わせ
 国土交通省東北地方整備局
 湯沢河川国道事務所 調査第二課
 電話番号0183-73-5559(平日9時00分～17時00分)

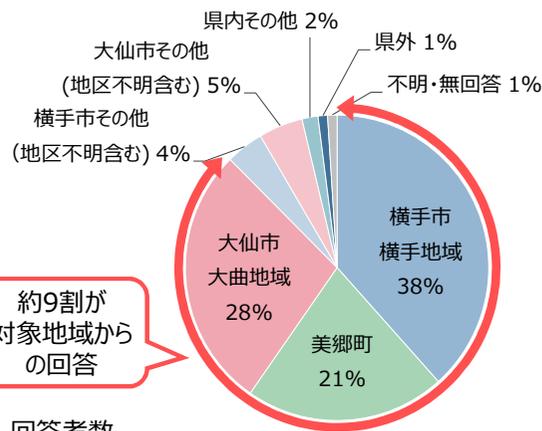
資料:MINEBA HP

- ◆ 住民アンケートでは、横手市横手地域・美郷町・大仙市大曲地域が約9割を占め、対象市町の配布戸数割合とほぼ同等の割合で回答を得た。
- ◆ 事業者アンケートは、横手市横手地域・美郷町・大仙市大曲地域で約8割を占めた。
- ◆ Webによる回答の割合が、前回から住民で9ポイント、事業者では28ポイント向上した。

あなたについてお聞かせください。(住所)

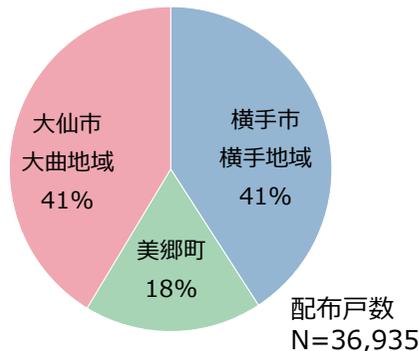
住民アンケート

【図1】回答者居住地分布



回答者数
N=10,841

【参考】市町別配布戸数の割合



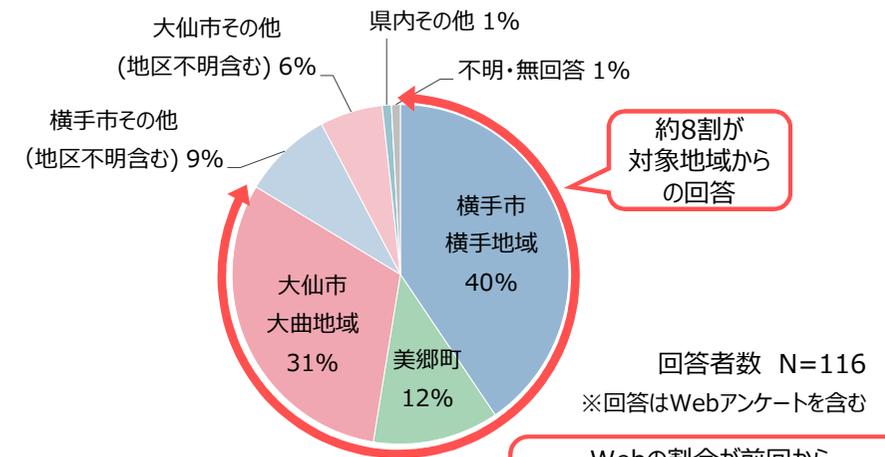
Webの割合が前回から
9ポイント向上
(前回10% → 今回19%)

【表1】調査手法別回答数

	回答数			合計
	郵送	留置き	Web	
横手市横手地域	3,231	95	845	4,171
美郷町	1,969	76	276	2,321
大仙市大曲地域	2,430	47	551	3,028
県内その他	625	156	358	1,139
県外	5	1	6	12
不明・無回答	162	8	0	170
計	8,422(78%)	383(3%)	2,036(19%)	10,841(100%)

事業者アンケート

【図2】事業所所在地分布



Webの割合が前回から
28ポイント向上
(前回35% → 今回63%)

【表2】アンケート回収状況

	回答数				
	郵送	Web(郵送配布対象)		Web計	合計
		Web(郵送配布対象)	Web(郵送配布対象外)		
横手市横手地域	17	8	22	30	47
美郷町	5	3	6	9	14
大仙市大曲地域	9	9	18	27	36
県内その他	11	2	5	7	18
県外	0	0	0	0	0
不明・無回答	1	0	0	0	1
計	43(37%)		73(63%)	116(100%)	

2-3. 第2回地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/属性2

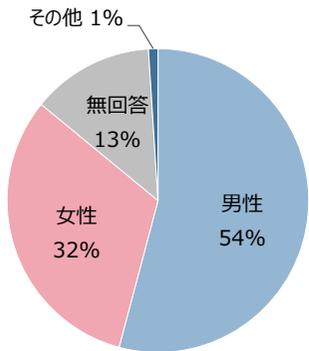
- ◆ 住民アンケートの属性では、年齢構成は60代以上が5割、職業は就業者が約6割を占めた。
- ◆ 事業者アンケートの属性では、業種は「製造業」「運輸業」で約6割を占めた。
- ◆ 今回新たに回答した方は、住民・事業者ともに約3割であった。

あなたについてお聞かせください。(住民:性別、年齢、職業、第1回アンケートへの回答 事業者:業種、第1回アンケートへの回答)

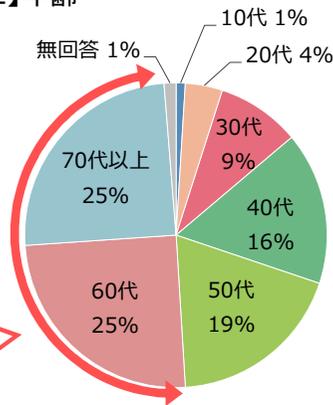
住民アンケート

回答者数 N=10,841

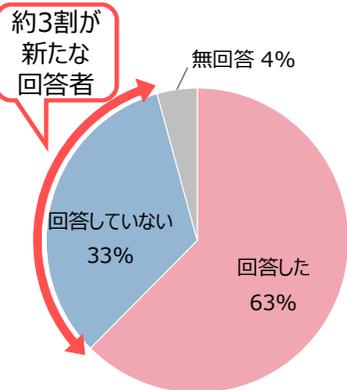
【図1】性別



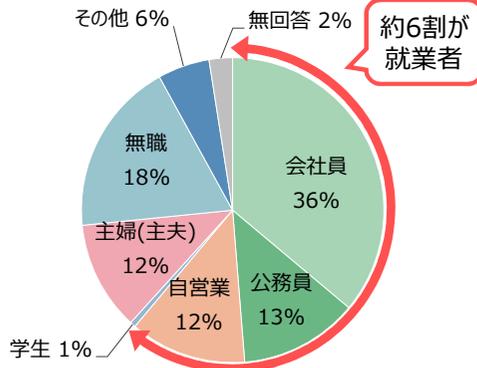
【図2】年齢



【図3】第1回アンケートへの回答

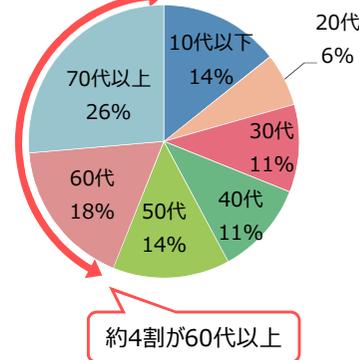


【図4】職業

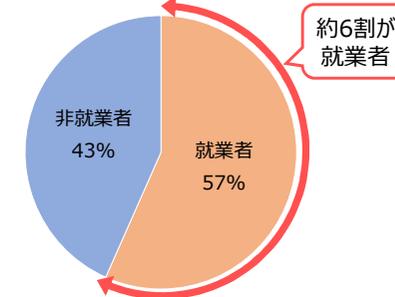


【参考】対象地域※1の統計データ

【参考図1】市町別年齢層の割合



【参考図2】就業率※2



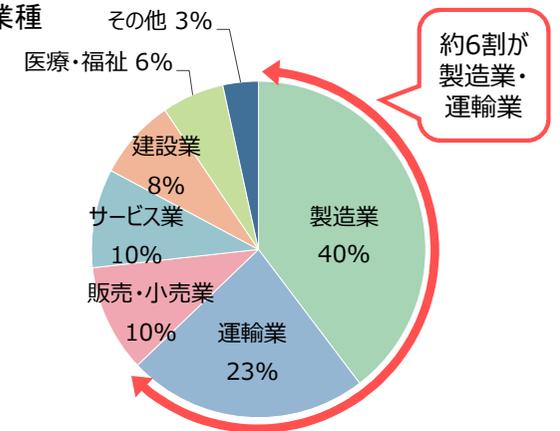
※1 対象地域: 横手市、美郷町、大仙市
 ※2 就業率=15歳以上の人口に占める就業者の割合

出典: H27国勢調査

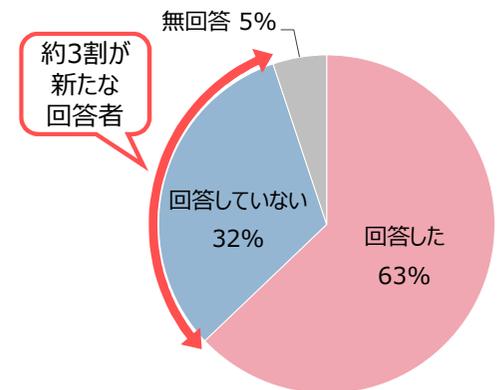
事業者アンケート

回答者数 N=116

【図5】業種



【図6】第1回アンケートへの回答

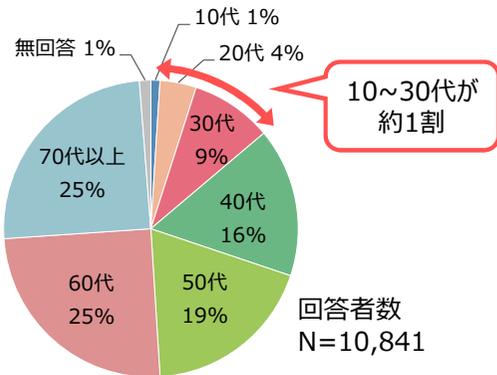


- ◆ 住民アンケートにおける若年層(10~30代)の割合は、全回答者数の約1割、回答方法別の割合は、郵送が約1割に対し、留置き・Webが約3割であった。
- ◆ Webによる回答割合は、第1回から第2回では住民全体で9ポイント、若年層に関しては20ポイント向上した。
- ◆ アンケート調査を知ったきっかけは、郵送はがきが約7割、Webで答えた理由は、「はがきより手軽なため」が約9割を占めた。

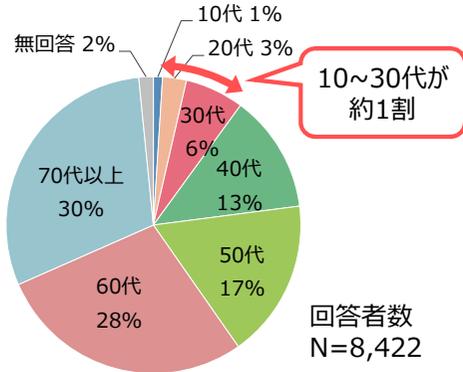
あなたについてお聞かせください。(住民:年齢、回答方法別年齢構成、第1回アンケート回答状況、知ったきっかけ、Web回答理由)

年代別・回答方法別の回答割合

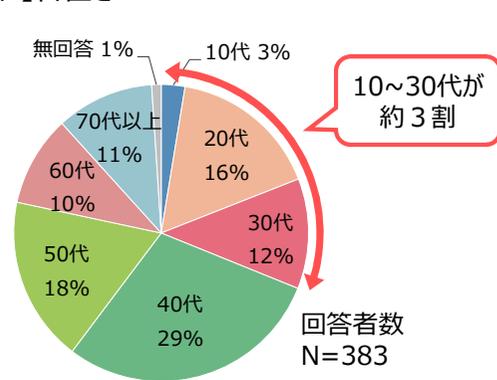
【図1】年齢



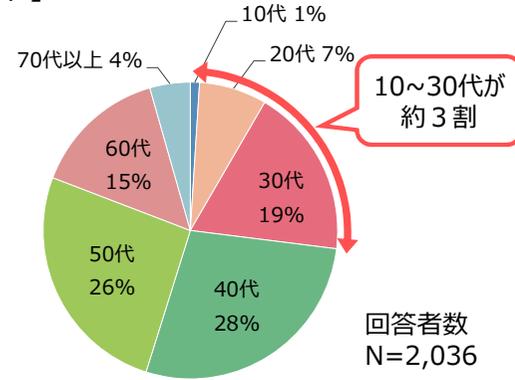
【図2】郵送



【図3】留置き

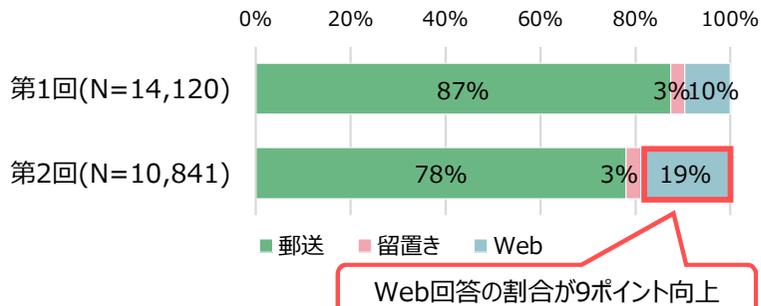


【図4】Web



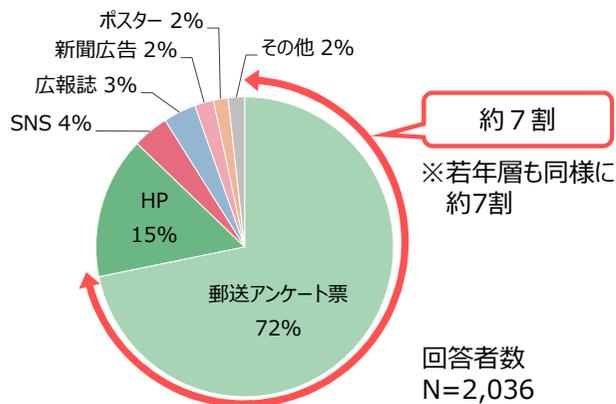
Webアンケートに関する回答割合

【図5】第1回アンケート回答状況との比較

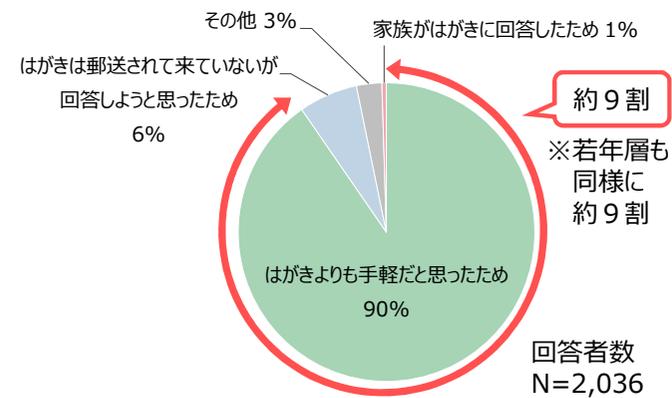


※若年層のWeb回答の割合は20ポイント向上
第1回: 17% ⇒ 第2回: 37%

【図6】アンケート調査を知ったきっかけ



【図7】Webで答えた理由



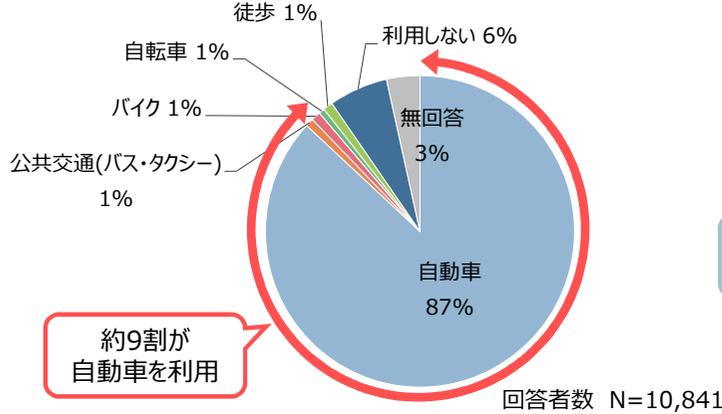
2-3. 第2回地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/利用状況

- ◆ 移動手段は、住民アンケートでは自動車約9割、事業者アンケートは乗用車が約7割、貨物車が約3割を占めた。
- ◆ 利用目的は、住民アンケートでは日常利用が約7割、非日常利用が約3割を占めた。事業者アンケートでは「運送・運輸」が約4割、通勤や営業で約5割を占めた。
- ◆ 利用頻度は、住民アンケートでは週に1~2回以上の利用が約4割、事業者アンケートでは週1~2回以上の利用が約7割を占めた。

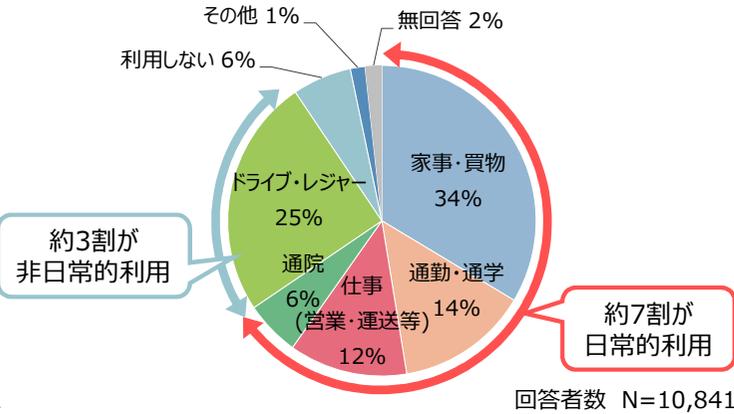
問1 国道13号(石町~榊柳間)の道路利用についてお伺いします。

住民アンケート

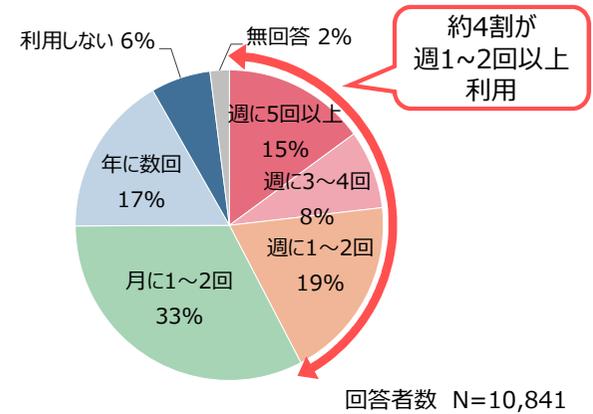
【図1】移動手段



【図2】利用目的

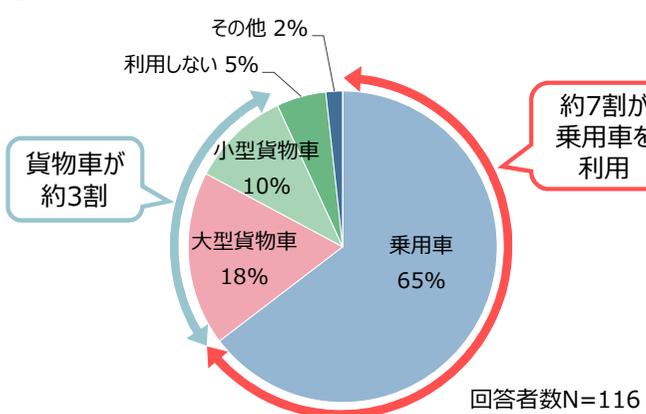


【図3】利用頻度

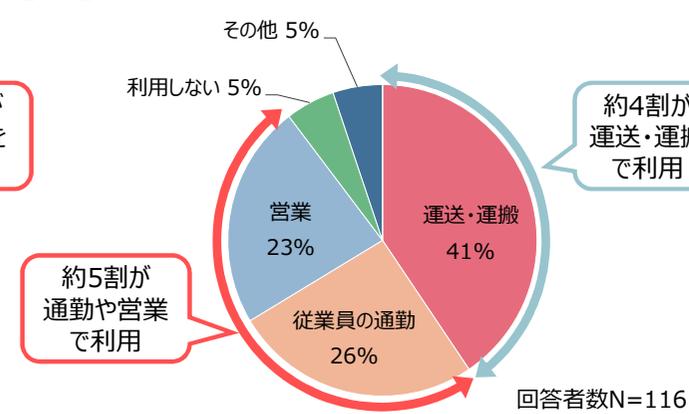


事業者アンケート

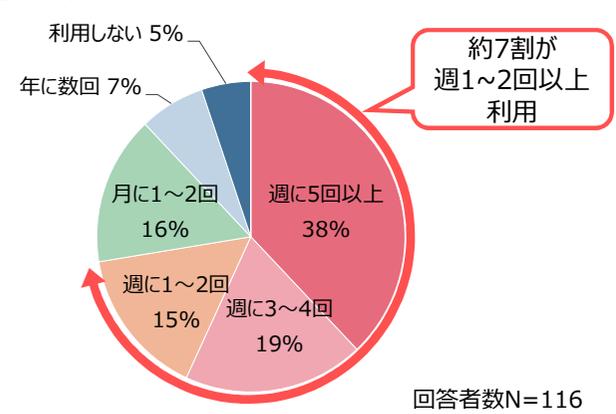
【図4】移動手段



【図5】利用目的



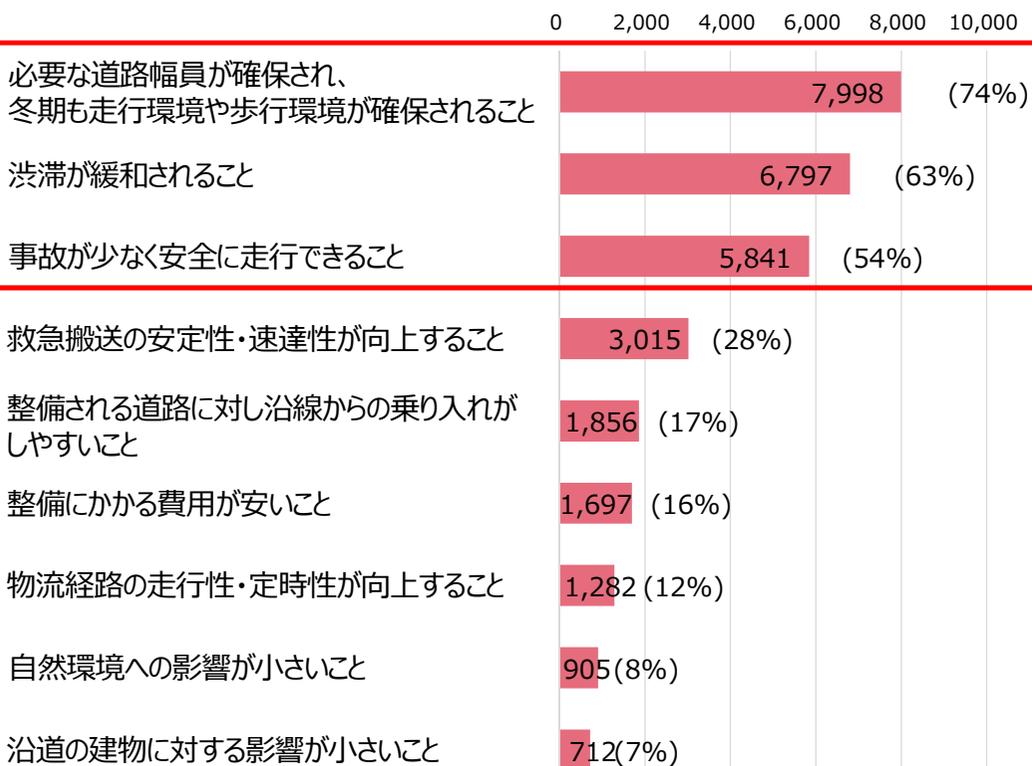
【図6】利用頻度



- ◆ 対策案を検討する際に特に重視すべき項目について、住民アンケートでは「必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること」が約7割で最も多く、次いで「渋滞が緩和されること」、「事故が少なく安全に走行できること」の順に多かった。
- ◆ 事業者アンケートでも、「必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること」が約8割と最も多く、次いで「渋滞が緩和されること」、「事故が少なく安全に走行できること」の順に多かった。

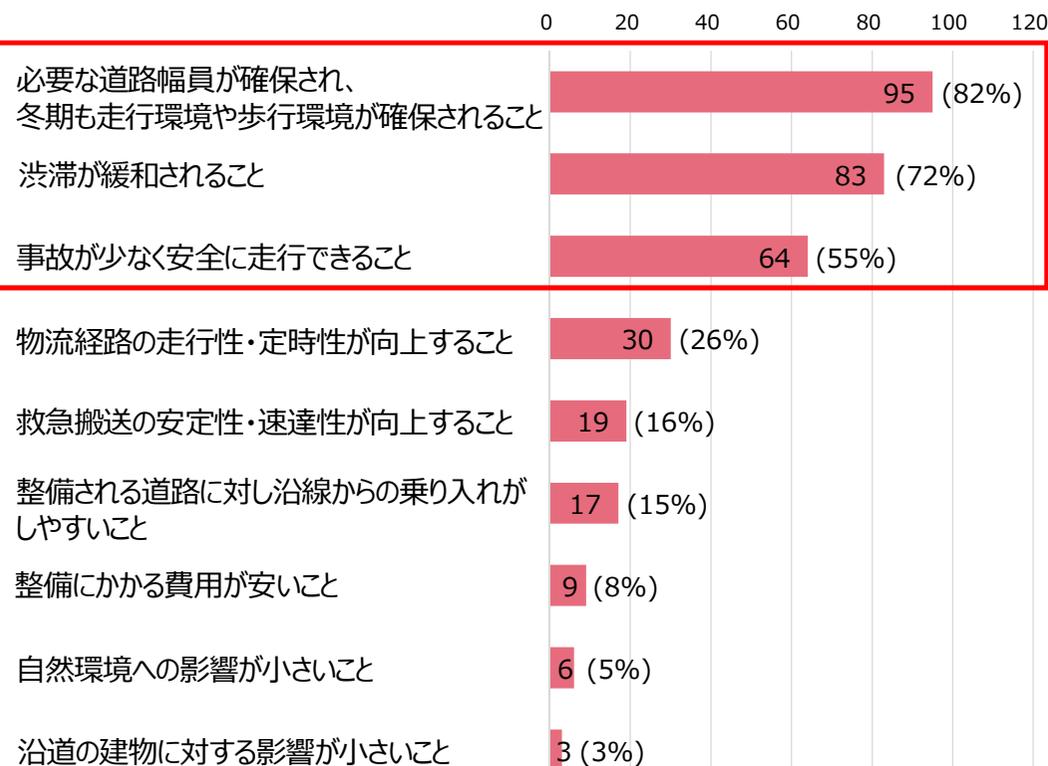
問2 対策案を検討する際に特に重視すべきと思われる項目を3つまで選んでください。

住民アンケート



回答者数N=10,841

事業者アンケート



回答者数N=116

- ◆ 重視すべき理由として、交通環境に関する意見が最も多く、次いで整備費用に関する意見が多かった。
- ◆ 交通環境では、「堆雪幅の確保、歩道幅の確保」等の意見、整備費用では、「経済性を考慮した道路機能の確保」等の意見が寄せられた。

問3 問2でチェックした項目について、そう思われる理由をお書きください。

項目		主な意見	
交通環境	渋滞が緩和されること 【2,319件】(住民2,290件、事業者29件)	【通年】	・朝夕の通勤時間帯に渋滞し、特に朝の渋滞がひどいため。(住民)
		【冬期】	・冬期、除雪で寄せられた路肩の雪と積雪のため、道路幅員が狭くなり、渋滞が発生しているため。(住民) ・通常期は農道なども走行出来るが、積雪時は走行できる道が少なくなり、国道13号に交通が集中して渋滞するため。(住民)
	必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること 【2,458件】(住民2,423件、事業者35件)	【通年】	・道路幅員が狭く大型車や自転車とのすれ違いが困難なため。(住民)
		【冬期】	・積雪により道幅が狭くなり、大型車とのすれ違いが困難となる事が多々あるため。(住民) ・冬期の堆雪で歩道を含む道路幅員が狭くなり、雪を避けて車道を歩く歩行者がいるため。(住民)
	事故が少なく安全に走行できること 【1,664件】(住民1,647件、事業者17件)	【通年】	・沿線企業の出入り部で大型車の右折待ち渋滞が多く事故のリスクが常にあるため。(住民)
		【冬期】	・冬積雪量が多いと、道路脇の雪壁が高く、道路幅員も狭くなり大型車とのすれ違いが危険なため。住民) ・特に冬期は通勤・帰宅ラッシュで渋滞がひどく事故が起こる危険性が高い。(住民)
物流・産業	物流経路の走行性・定時性が向上すること 【65件】(住民63件、事業者2件)	【通年】	・運送会社の拠点が横手に多くあり、物流の効率化を期待するため。(住民) ・渋滞の緩和により配送時間の大幅なズレもなくなり、運行管理がしやすくなるため。(事業者)
		【冬期】	・冬期の大型車同士のすれ違いに余裕が生まれ、配達がスムーズにできることが重要であるため。(住民)
医療	救急搬送の安定性・速達性が向上すること 【160件】(住民158件、事業者2件)	【通年】	・人家連坦部は特に道路幅が狭く、救急車が追い越しできずに停車していること事があるため。(住民)
		【冬期】	・冬期雪で道路が狭くなり救急車が来たとき端に寄るのが大変で、搬送に遅れが生じないか心配だったため。(住民) ・冬期は堆雪による渋滞で救急搬送に時間がかかるため、命の危険が出てくる。(住民、事業者)
整備される道路に対し沿線からの乗り入れがしやすいこと 【83件】(住民81件、事業者2件)		【通年】	・主に配送で利用するので、市内から国道へ入りやすいことが望まれる(事業者)
		【冬期】	・冬期に沿線から国道へ出るのに時間がかからないようにすることが大事。(住民)
沿道の建物に対する影響が小さいこと 【43件】(住民43件、事業者0件)	【通年】	・渋滞緩和は確かに重要だが、そのために沿線の建物等、支障になるものが多ならないようにすべき。(住民) ・建物への費用負担より、近年の情勢から沿線の農地を買収した方がいいと思われるため。(住民)	
自然環境への影響が小さいこと 【77件】(住民76件、事業者1件)	【通年】	・予期せぬ自然災害が起きていることから、環境保全に努めることは大事だと思うため。(住民) ・利便性と自然保護のバランスを考えて欲しい。(事業者)	
整備にかかる費用が安いこと 【354件】(住民354件、事業者0件)		【通年】	・同じ効果があるとすれば、安い方が良い。(住民)
		【冬期】	・堆雪しても道路機能を確保でき、かつ費用は安い方が良かったため。(住民)

2-3. 第2回地域の意見聴取の結果(アンケート調査)/その他の意見

- ◆ 道路構造・道路線形に関する意見が最も多く、次いで維持管理に関する意見が多かった。
- ◆ 道路構造・道路線形では、「走行性・安全性」等の意見、維持管理では「道路の維持管理の重要性」等の意見が寄せられた。

問4 問2でチェックした項目以外で、重視すべきと思われることをお書きください。

項目		主な意見
道路構造・道路線形に関する意見 【638件】(住民632件、事業者6件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブやアップダウンの少ない道路にしてほしい。(住民) ・交差点を少なくしてほしい。(住民)
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の吹雪などの際、ホワイトアウトしないような対策が必要である。(住民)
維持管理に関する意見 【450件】(住民447件、事業者3件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・立派な道路は、あれば便利だが将来の維持管理費用も考慮する必要がある。(住民) ・大仙市、さらには秋田市へと続く大切なルートであるため、道路の維持管理は重要である。(住民)
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・除排雪作業がしやすい環境が出来れば、冬期の渋滞が減るのではないか。(住民)
整備方針に関する意見 【367件】(住民357件、事業者10件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道の建物への影響が大きい所では、一部バイパスにしてもよいのではないか。(住民) ・沿道の建物の移動や交差点の改良等の影響を考えれば、バイパス案も良いと思う。(住民)
整備費用に関する意見 【224件】(住民222件、事業者2件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・特にバイパス案については、費用対効果を十分検討する必要がある。(住民) ・費用をなるべく抑えることが重要である。(事業者)
早期整備に関する意見 【148件】(住民146件、事業者2件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・整備にかかる期間が短く、早く利用できることが必要である。(住民) ・迅速に計画を進めて早期に整備してほしい。(住民、事業者)
道路整備に否定的な意見 【75件】(住民75件、事業者0件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・今はコロナ対策で必要以上に費用がかかる。道路拡張にお金を使わずコロナ終息にむけてお金を投資するべき。(住民) ・自然を壊してまで開発する必要はない。(住民)
その他(現道課題への意見、要望など) 【2,272件】(住民2,244件、事業者28件)	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・施工期間中の渋滞緩和や安全確保を重視すべきと思う。(住民) ・対象区間内の生活道路は沿線からの乗り入れが必ず必要であり、利便性の良いものであってほしい。(住民)
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期でも道路幅員が確保されることが必要 ・冬期の雪の中の渋滞では、救急搬送に支障をきたすため、改善が必要である。(住民)

- ◆ 重視すべき理由として、交通環境に関する意見が最も多く、次いで医療に関する意見が多かった。
- ◆ 交通環境では、「慢性的な渋滞、堆雪幅の確保」等の意見、医療では、「狭小幅員のため救急車の追い越しが困難」等の意見が寄せられた。

問 対策案を検討する際に重視すべきと思われる項目とその理由について教えてください。

項目		主な意見	
交通環境	渋滞が緩和されること 【13件】	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・石町交差点や人家連坦部が慢性的に渋滞しており、道路利用者の利便性向上や沿線住民の生活環境の改善が第一と考えるため。(自治体) ・大仙市と横手市を結ぶ主要道路であり、時間帯を問わず渋滞しない快適な交通環境が望まれるため。(自治体)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・特に冬期は渋滞により定時運行が困難となり、バス利用者の利便性を損ねているため。(バス協会)
	必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること 【11件】	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・大型車とのすれ違いが難しく、快適な走行を支援するためには道路整備は欠かせないため。(観光協会)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は堆雪で道路幅員が狭くなり、ワゴン車での送迎に支障が生じているため。(福祉施設) ・道路幅員が狭いために冬期の堆雪スペースが無く、歩道歩行に支障しているため。(自治体)
	事故が少なく安全に走行できること 【8件】	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・特に沿線企業の出入り部では大型車の出入りによる事故が多いと感じているため。(経済団体) ・中学生の通学路であり、安全面を考慮すると通年を通して歩道幅員の確保が大切であると考えため。(教育機関)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は堆雪により歩道が更に狭くなり車道を歩行する歩行者がおり危険なため。(自治体)
物流・産業	物流経路の走行性・定時性が向上すること 【4件】	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市内や大仙市方面に行く道路が他になく、渋滞による物流の遅延は死活問題であるため。(製造業者)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は特に安本入口交差点の渋滞が頻繁に発生し納品が遅れるため。(製造業者)
医療	救急搬送の安定性・速達性が向上すること 【5件】	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・救急車の追越しができない状況が見られるため。(経済団体)
		【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期は距離的に遠回りでも国道13号を救急搬送で利用する頻度が増えるため。(消防機関)
整備される道路に対し沿線からの乗り入れがしやすいこと 【2件】		【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺から通院する人のことを考えると、沿線集落から乗入れしやすい道路であることが重要であるため。(病院) ・地域住民や企業にとってアクセスしやすい道路であることが重要。(製造業)

- ◆ 道路構造・道路線形に関する意見が最も多く、次いで早期整備に関する意見が多かった。
- ◆ 道路構造・道路線形では、「カーブやブレーキの少ない道路整備を望む」等の意見、早期整備では、「国道13号の重要性から早期整備を望む」等の意見が寄せられた。

問 その他、整備方針を検討する上で配慮すべき項目等あれば教えてください。

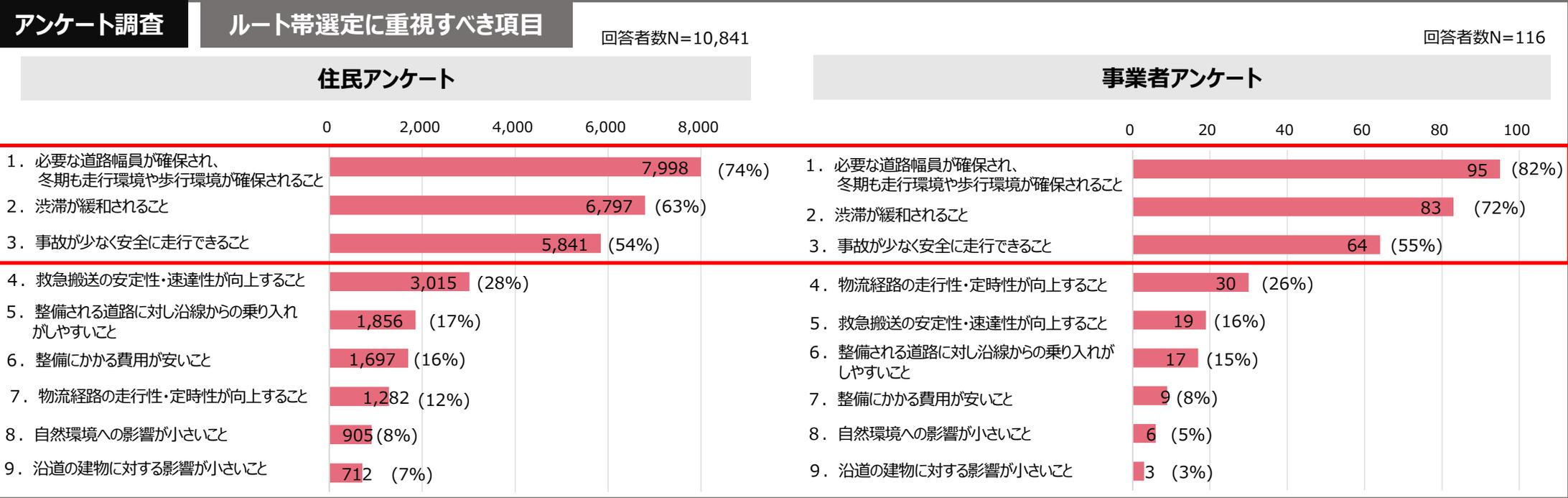
項目	主な意見
道路構造・道路線形に関する意見 【42件】	<ul style="list-style-type: none"> ・信号機の数維持するか減らしてほしい。(自治体) ・直線区間を多くすることで、安全で迅速な搬送に繋がる。(消防機関) ・カーブによる横揺れやブレーキが少なく済むような、体の弱い入居者に配慮した安全で快適な道路整備をしてほしい。(福祉施設)
早期整備に関する意見 【13件】	<ul style="list-style-type: none"> ・秋田観光の将来が掛かっているため、早期の整備を望む。(観光団体) ・国道13号は物流にとって生命線であるため、早期の整備が必要。(製造業者)
当該道路のアクセス利便性に関する意見 【9件】	<ul style="list-style-type: none"> ・集荷トラックが走りやすいよう、大きな交差点や道路から乗入れできるようにしてほしい。(農業協同組合) ・横手工業団地からはアクセスできるようにしてほしい。(製造業者)
維持管理に関する意見 【5件】	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理しやすいような幅員を確保すべき。(自治体) ・特に冬場は安全に走行できるような管理体制(除雪のタイミング等)を取って頂きたい。(福祉施設)
工事期間中の対応に関する意見 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・工事期間の短縮と、工事期間中の渋滞対策、沿線企業敷地への車両出入りが円滑にできるよう配慮してほしい。(経済団体) ・工事の際は、現道に規制が入る等の想定がされることから、交通に混乱が生じないように配慮してほしい。(経済団体)
整備費用に関する意見 【2件】	<ul style="list-style-type: none"> ・整備効果が各ルートで同程度と判断される場合は、経済性も考慮した方が良いと思う。(経済団体) ・費用が安ければ良いということではないが、地域に根ざしたルート帯にほしい。(製造業者)
その他 【10件】	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市と大仙市をつなぐ県南の大動脈であることから、安心・安定して走行できる道路を整備してほしい。(自治体) ・将来の人口減少も考慮したうえで整備の妥当性を検証してほしい。(経済団体)

- ◆ 歩道利用者へ歩行環境の課題及び改善方法に関して、アンケート調査を実施。
- ◆ 幅員が狭いため、積雪や車道除雪の影響で歩道歩行に支障が生じており、安全安心のために歩道幅員を広げるべきとの意見が寄せられた。

調査対象者	
歩道利用者	○一般利用者（6人） ○中学生（8人）

項目	主な意見	
歩行環境の課題に関する意見	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道幅員が狭く、自転車とのすれ違いが困難で危険。 ・大型車が横を通ると風圧で体があおられることがあり危険。
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道幅員が狭く、冬期の積雪により更に狭くなり歩きにくい。 ・路肩幅員が狭く、車道除雪された雪が狭い歩道上に積みあがるため、危険で歩けないことがある。 ・宅地の雪を歩道に出している箇所があり、乗り越えられないことがある。 ・歩道脇に積み上げた雪が落ちこぼれて歩道をふさぐことがある。
改善方法に関する意見	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道幅員を広くすれば、夏冬関係なく安全に歩行できる。
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・冬期の積雪も考慮し、安全安心のため歩道幅員を広くすべき。 ・車道除雪による影響を受けずに歩道の利用ができるようにすべき。
その他の意見	【通年】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路全体の幅員が狭く、必然的に歩道幅員も狭くなるため、道路全体の拡幅が必須である。
	【冬期】	<ul style="list-style-type: none"> ・車道は転倒や自動車との接触が容易に想定されて危険なため、生徒には基本は堆雪があっても歩道を歩くように指導している。

- ◆ ルート帯選定時に重視すべき項目として、「必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること」、「渋滞が緩和されること」、「事故が少なく安全に走行できること」が特に求められている。
- ◆ その他の重視事項として、「維持管理」、「整備方針」、「早期整備」に関する意見が寄せられた。
- ◆ その他の意見として、「歩道歩行」に関する意見が寄せられた。



アンケート調査、企業・関係機関ヒアリング	その他の重視事項	歩行者アンケート調査
<p>■ 維持管理に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大崎市、さらには秋田市へと続く大切なルートであるため、道路の維持管理は重要である。(住民) ・除排雪作業がしやすい環境が出来れば、冬期の渋滞が減るのではないか。(住民) 	<p>■ 整備方針に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイパス案は沿線の住宅が寂れてしまうため、現道改良(一部バイパス)案で進めてほしい。(住民) ・沿道の建物の移動や交差点の改良等の影響を考えれば、バイパス案も良いと思う。(住民) 	<p>■ 歩行環境に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路肩幅員が狭く、車道除雪された雪が狭い歩道上に積みあがるため、危険で歩けないことがある。 ・冬期の積雪も考慮し、安全安心のため歩道幅員を広くすべき。

■ 早期整備に関する意見

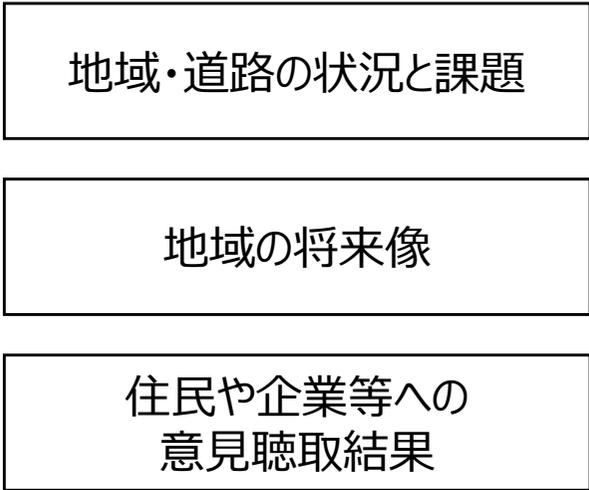
- ・迅速に計画を進めて早期に整備してほしい。(住民、事業者)
- ・国道13号は物流にとって生命線であるため、早期の整備が必要。(製造業者)

3. 対応方針(原案)の検討

3-1. ルート帯案の検討(政策目標)

- ◆ 当該地域の道路交通状況や、地域の課題等を踏まえて政策目標を設定し、これを達成するための機能を有する対策案を複数設定。
- ◆ 対策案を検討する上では、沿線環境、生活環境、自然環境、経済性などに配慮。
- ◆ 冬期課題に対しては、積雪地域で必要となる幅員を検討。

○当該地域の政策目標



政策目標

以下の項目を目的に、快適かつ安全な移動の実現を図ると共に、物流・産業、医療を支援する道路ネットワークの確保

- 快適かつ安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルート of 確保
- 安定した救急搬送ルートの確保

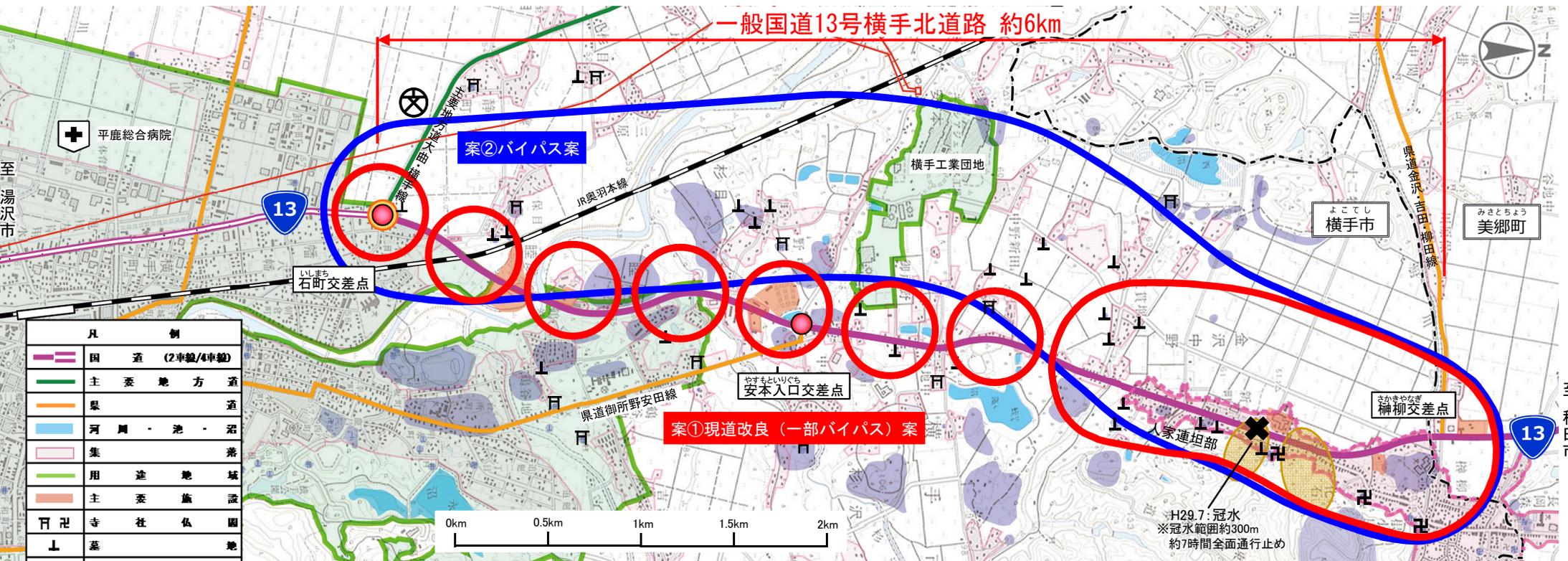
○対策案を検討する上での配慮事項

- 沿線環境
 - 現道沿線住民への影響
- 生活環境
 - 沿道家屋への影響
- 自然環境
 - 地形・自然環境の改変
- 経済性
 - 整備に関する費用

3-1. ルート帯案の検討(対策案)

◆ 政策目標を達成するための対策案について、主要なコントロールポイントに配慮し2案を設定。

- 【案①】現道改良(一部バイパス)案: 現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案
- 【案②】バイパス案: 全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案



凡 例	
	国 道 (2車線/4車線)
	主 要 地 方 道
	集 約 道
	河 川・池・沼
	集 落
	用 途 地 域
	主 要 施 設
	寺 社 仏 閣
	墓 地
	道 路
	通 行 止 発 生 箇 所 (H29~R3)
	土 砂 災 害 警 戒 区 域
	主 要 決 滞 箇 所
	死 傷 事 故 率 100件/総 合 キ 口 以 上 出 典: 例 別 21-E2-R2

凡 例	
	案① 現道改良(一部バイパス)案
	案② バイパス案

至 秋 田 市

至 湯 沢 市

3-1. ルート帯案の検討(複数案の比較・評価)

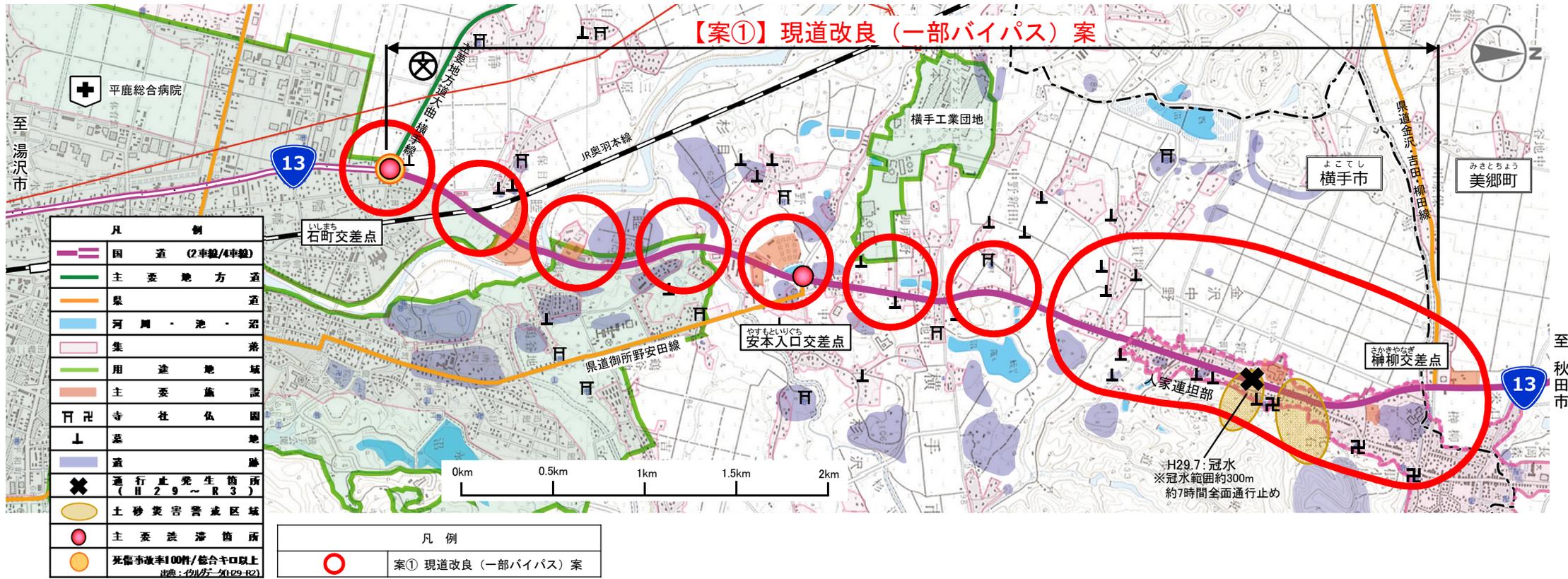
- ◆ 第2回地域の意見聴取では、「快適かつ安全な交通環境の確保」に関する意見が多く寄せられた。
- ◆ 3つの政策目標「快適かつ安全な交通環境の確保」「円滑な物流ルート of 確保」「安定した救急搬送ルートの確保」、沿線環境等の視点では、案①「現道改良(一部バイパス)案」が優れている。

比較項目		【案①】現道改良(一部バイパス)案	【案②】バイパス案			
ルートの概要		現道拡幅を基本とし、一部バイパスにより土砂災害警戒区域及び通行止め区間を回避し、現道の課題解消を図る案	全線をバイパス整備し、現道の課題解消を図る案			
整備イメージ						
延長		約6 km	約6 km			
政策目標	快適かつ安全な交通環境の確保	渋滞緩和	交通容量が確保され、渋滞緩和が図られる。	◎	バイパスへの交通転換により、渋滞緩和が図られる。	◎
		通行環境改善	必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境や安全安心な歩行環境が確保される。	◎	必要な道路幅員が確保され、冬期の走行環境は確保されるが、現国道13号の歩行環境の課題は残る。	△
		交通事故減少	渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。	◎	渋滞緩和による追突事故の減少や中央分離帯の設置により安全性が向上。	◎
	円滑な物流ルートの確保	物流経路の走行性、定時性の向上	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。	◎	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、走行性、定時性ともに向上。	◎
安定した救急搬送ルートの確保	救急搬送の安定性、速達性の向上	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。	◎	渋滞緩和や冬期の走行環境改善により、救急搬送の安定性、速達性ともに向上。	◎	
配慮すべき事項	沿線環境	現道沿線住民への影響	沿線から本線へのアクセス性に優れる。	◎	沿線から本線へのアクセス性に劣る。	△
	生活環境	沿道家屋への影響	人家連坦部を避けるものの、現道拡幅となるため、沿線家屋等への影響が大きい。	△	バイパス整備により、沿線家屋等への影響が小さい。	◎
	自然環境	地形・自然環境の改変	地形改変が小さいため自然環境への影響が小さい。	◎	地形改変が大きいため自然環境への影響が大きい。	△
	経済性	整備に関する費用*	約190~230億円		約360~400億円	

凡	例
— —	車線数(2車線/4車線)
⊗	通行止め発生箇所(H29~R3)
○	土砂災害警戒区域

◎ : 改善する・満足する ○ : 一部改善する・やや満足する △ : 改善しない・満足しない

※現時点の概算であり、今後のルート検討、土地利用状況等により、金額が変更となる場合がある。



地域住民・事業者・道路利用者への意見聴取、関係団体へのヒアリングの主な意見

【ルート帯案について】

○アンケート調査及びヒアリング調査では、政策目標のうち「快適かつ安全な交通環境の確保」に関する意見が最も多く、「円滑な物流ルートの確保」、「救急搬送ルートの確保」に関する意見も多く寄せられた。

政策目標の達成見込み及びルート帯選定にあたって重視すべき項目について、意見聴取結果を踏まえて評価

ルート帯案の考え方

○地域の課題を解決するための政策目標である「快適かつ安全な交通環境の確保」、「円滑な物流ルートの確保」、「救急搬送ルートの確保」に寄与し、対応策として最も優れている**案①「現道改良（一部バイパス）案」**とする。

3-3. 積雪地域の幅員構成

- ◆ 現況は積雪地域に存する道路として必要な幅員が確保されていない状況。
- ◆ 評価対象区間の幅員構成は、標準幅員に加え冬期の通行環境と交通容量を確保するため積雪地域に存する道路で必要となる幅員や隣接区間との連続性を考慮し決定。

ケース	横断面
<p>現況国道13号</p>	
<p>道路計画 (標準幅員)</p>	
<p>横手北道路計画 (積雪地域)</p>	

4. 自治体への意見照会結果

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
秋田県	<p>一般国道13号横手北道路(横手市八幡～仙北郡美郷町金沢)の<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>一般国道13号は、東北地方の内陸部を縦貫する大動脈であり、緊急時に東北中央自動車道及び秋田自動車道を補完する重要な役割を担っております。</p> <p>また、横手市、美郷町を含む県南地域は、豊富な観光資源や、横手市の「かまくら」に代表される全国的にも著名な伝統行事を有するとともに、近年は、自動車関連企業の立地が進む産業集積地となっており、広域周遊観光による交流人口の拡大や安定的な生産・物流を支えるため、一般国道13号の整備が極めて重要と考えております。</p> <p>当該区間は、前後が4車線及びバイパスとして整備された区間に挟まれたボトルネックの2車線道路であり、通過交通が集中する通勤・通学時間帯の交通混雑に加え、冬期間における旅行速度の低下が課題となっており、<u>横手北道路は、安全で円滑な交通の確保に向けて不可欠な道路であります。</u></p>

道 ー 1404
令和4年11月1日

国土交通省東北地方整備局長
山 本 巧 様

秋田県知事 佐 竹 敬 久
(公 印 省 略)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和4年10月31日付け国東整道一計第24号で照会がありました、一般国道13号横手北道路（横手市八幡～仙北郡美郷町金沢）の対応方針(原案)について同意します。

一般国道13号は、東北地方の内陸部を縦貫する大動脈であり、緊急時に東北中央自動車道及び秋田自動車道を補完する重要な役割を担っております。

また、横手市、美郷町を含む県南地域は、豊富な観光資源や横手市の「かまくら」に代表される全国的にも著名な伝統行事を有するとともに、近年は、自動車関連企業の立地が進む産業集積地となっており、広域周遊観光による交流人口の拡大や安定的な生産・物流を支えるため、一般国道13号の整備が極めて重要と考えております。

当該区間は、前後が4車線及びバイパスとして整備された区間に挟まれたボトルネックの2車線道路であり、通過交通が集中する通勤・通学時間帯の交通混雑に加え、冬期間における旅行速度の低下が課題となっており、横手北道路は、安全で円滑な交通の確保に向けて不可欠な道路であります。

秋田県としては、当該区間における整備効果の更なる発現に向け、接続する主要地方道大曲横手線や一般県道御所野安田線の改良について検討するとともに、横手北スマートインターチェンジにアクセスする主要地方道横手大森大内線（三本柳工区）等の周辺道路の整備を推進してまいります。また、事業の推進に必要な地元調整や関係機関との協議についても協力してまいります。

つきましては、横手北道路の一日も早い事業化に向けて、調査を推進されますとともに、交通の円滑化及び安全の確保の観点から、横手北道路に隣接する国道13号仙北郡美郷町金沢から大仙市和合間についても、整備計画を早期に策定されますよう、特段の御配慮をお願いします。

担 当：秋田県建設部道路課
課長 伊勢 弘
TEL 018-860-2483
FAX 018-860-3837

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見
横手市	<p>一般国道13号横手北道路(秋田県横手市八幡～仙北郡美郷町金沢)の<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>当地域を縦断している一般国道13号は、秋田県南部における交通の大動脈であり、物流や通勤通学など経済・生活圏を支えるとともに、産業振興や地域医療・救急体制、災害時の緊急輸送路として大変重要な役割を担う幹線道路で、「重要物流道路」に指定されています。特に産業面では、秋田県における輸送用機械器具製造品出荷額の7割を横手市が占めており、製品出荷時には一般国道13号が多く利用されています。</p> <p>しかしながら、当該区間は通過交通に加え、通勤などの日常生活における交通が集中する区間であり、主要渋滞箇所周辺での速度低下や事故の発生、特に冬期間は路肩堆雪による幅員狭小で車両のすれ違いや歩道の歩行が困難な状況になるなど、交通環境の悪化が課題となっており、<u>横手北道路は交通の円滑化や安全な交通環境の確保等に向け必要不可欠な道路です。</u></p>

建第 1117 号
令和4年11月1日

国土交通省東北地方整備局長
山本 巧 殿

横手市長 高橋 大
(公 印 省 略)

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）

令和4年10月31日付け国東整道一計 第24号で意見照会のありました、一般国道13号横手北道路(秋田県横手市八幡～仙北郡美郷町金沢)の対応方針(原案)について同意します。

当地域を縦断している一般国道13号は、秋田県南部における交通の大動脈であり、物流や通勤通学など経済・生活圏を支えるとともに、産業振興や地域医療・救急体制、災害時の緊急輸送路として大変重要な役割を担う幹線道路で、「重要物流道路」に指定されています。特に産業面では、秋田県における輸送用機械器具製造品出荷額の7割を横手市が占めており、製品出荷時には一般国道13号が多く利用されています。

しかしながら、当該区間は通過交通に加え、通勤などの日常生活における交通が集中する区間であり、主要渋滞箇所周辺での速度低下や事故の発生、特に冬期間は路肩堆雪による幅員狭小で車両のすれ違いや歩道の歩行が困難な状況になるなど、交通環境の悪化が課題となっており、横手北道路は交通の円滑化や安全な交通環境の確保等に向け必要不可欠な道路です。

横手市としては、当該区間の整備効果の更なる発現に向け主要渋滞箇所の石町交差点及び安本入口交差点に接続する幹線市道朝倉線及び市道杉沢安本線の整備を検討するとともに、地元及び関係機関との調整など事業推進に全面協力して参りたいと考えております。

つきましては、横手北道路の一日も早い事業化に向けて調査を促進されますよう特段のご配慮をお願いいたします。

■意見照会の回答（要旨）

自治体名	意見	
美郷町	<p>一般国道13号横手北道路(秋田県横手市八幡～仙北郡美郷町金沢)の<u>対応方針(原案)について同意します。</u></p> <p>当地域を縦断している一般国道13号は、秋田県南部の大動脈であり、物流や通勤など経済・生活圏を支えるとともに、地場産業・観光産業振興、地域医療・救急体制、災害時の緊急輸送路として大変重要な役割を担っています。</p> <p>しかしながら、当該区間は幅員が狭く、特に積雪時においては製造品出荷時などにおいて渋滞による納入遅延や荷崩れが発生しやすくなるなど、走行性、定時性の確保や堆雪の影響でさらに道路幅員が狭くなるため、救急搬送時の追い越しが困難となり速達性の確保が課題となっております。<u>横手北道路は、安全でかつ定時性が確保出来る道路環境を維持するために必要不可欠な道路です。</u></p>	<p style="text-align: right;">美建発第435号 令和4年11月1日</p> <p>国土交通省東北地方整備局長 山本 巧 殿</p> <p style="text-align: right;">美郷町長 松田 知己 (公印省略)</p> <p style="text-align: center;">道路事業の計画段階評価に係る意見照会について（回答）</p> <p>令和4年10月31日付け国東整道一計第24号で意見照会のありました、一般国道13号横手北道路（秋田県横手市八幡～仙北郡美郷町金沢）の<u>対応方針（原案）について同意します。</u></p> <p>当地域を縦断している一般国道13号は、秋田県南部の大動脈であり、物流や通勤など経済・生活圏を支えるとともに、地場産業・観光産業振興、地域医療・救急体制、災害時の緊急輸送路として大変重要な役割を担っています。</p> <p>しかしながら、当該区間は幅員が狭く、特に積雪時においては製造品出荷時などにおいて渋滞による納入遅延や荷崩れが発生しやすくなるなど、走行性、定時性の確保や堆雪の影響でさらに道路幅員が狭くなるため、救急搬送時の追い越しが困難となり速達性の確保が課題となっております。<u>横手北道路は、安全でかつ定時性が確保出来る道路環境を維持するために必要不可欠な道路です。</u></p> <p>当町としましては、地元及び関係機関との調整など事業推進に全面協力して参りたいと考えております。</p> <p>横手北道路の終点側には、一昨年にリニューアルを行った道の駅美郷があり、観光案内の拠点として機能しております。横手北道路の早期整備により、その効果が一層高まると考えており、当町としても最大限の効果を発揮すべく事前の検討・整備を行ってまいります。それにあたり、国からのアドバイスや支援につきましても格段のご配慮をお願いいたします。</p> <p>つきましては、横手北道路の一日も早い事業化に向けて調査を促進されますよう特段のご配慮をお願いいたします。</p>

5. 対応方針(案)のまとめ

5-1. 対応方針(案)

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- 快適かつ安全な交通環境の確保
- 円滑な物流ルート of 確保
- 安定した救急搬送ルートの確保



【地域の意見聴取結果】

国道13号の課題	○道路利用者の意見から、「交通環境」「物流・産業」「医療」などの課題を整理。
道路整備の必要性	○住民や企業など、回答いただいた道路利用者の多くが、道路整備の必要性を感じている。
ルート検討において重視すべき事項	○地域が感じているルート検討において重視すべき項目は「必要な道路幅員が確保され、冬期も走行環境や歩行環境が確保されること」が多い。
自治体の意見	○秋田県・横手市・美郷町から、案に同意すると共に、早期事業化を要望する意見を頂いた。

2. 対応方針 (案)

◆計画及びルート帯案

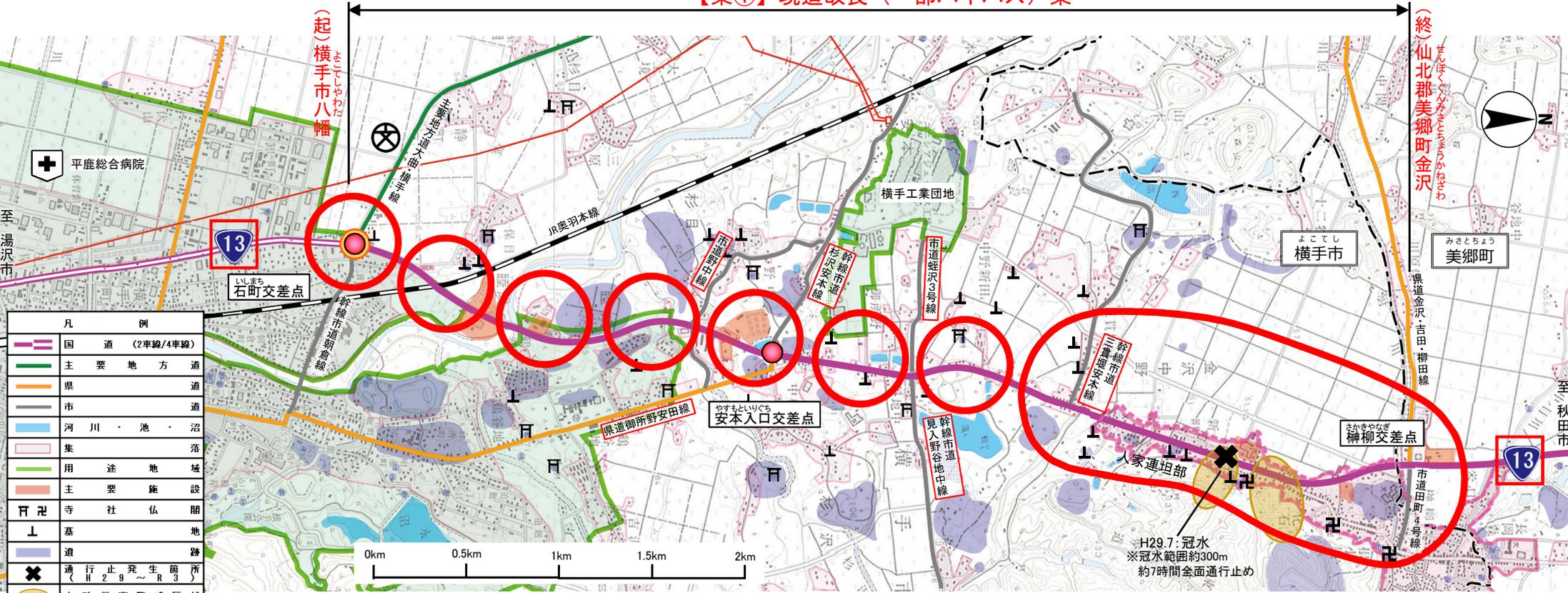
地域の課題を解決するための政策目標に寄与し、対応策として最も優れている【案①】現道改良（一部バイパス）案とする。

【理由】

- 地域の課題を解決するための政策目標（「快適かつ安全な交通環境の確保」、「円滑な物流ルートの確保」、「安定した救急搬送ルートの確保」）を達成。
- 地域の意見聴取結果で得られた多くの地域のニーズに応えられる。
- 必要な道路幅員が確保され、冬期課題にも配慮している。

◆ 計画及びルート帯案については、「快適かつ安全な交通環境の確保」「円滑な物流ルートの確保」「安定した救急搬送ルートの確保」に寄与する現道改良(一部バイパス)案とする。

【案①】現道改良(一部バイパス)案



凡 例	
	国 道 (2車線/4車線)
	主 要 地 方 道
	県 道
	市 道
	河 川 ・ 池 ・ 沼
	集 落
	用 途 地 域
	主 要 施 設
	寺 社 仏 閣
	基 地
	道 路 踏 切
	通 行 止 発 生 箇 所 (H29~R3)
	土 砂 災 害 警 戒 区 域
	主 要 渋 滞 箇 所
	死 傷 事 故 率 100件/億台キロ以上 出典:イ列(ア)~列(H29-R2)

凡 例	
	案① 現道改良(一部バイパス)案

道路名 想定される接続道路

■ 整備概要

延長	約6km	設計速度	V=60km/h
構造	土工、橋梁等		
コスト	約190億円~230億円		

■ 代表断面図(イメージ)

